令和元年度導入機器

蛍光エックス線膜厚計

(株) 日立ハイテクサイエンス EA6000VX

本装置は 2019 年度 公益財団法人 JKA 補助事業 (競輪の補助金) により導入しました。





(株) 日立ハイテクサイエンス EA6000VX

機器の概要

試料にエックス線を照射し、そこから発生する蛍光エックス線の強度からめっきなどの金属薄膜の厚みを計測する装置です。蛍光エックス線による膜厚測定は試料を非破壊で測定でき、10秒~数分間程度の短時間で測定可能です。日本国内においては日本工業規格 JIS K 0199(蛍光エックス線分析方法通則)で、米国では ASTM B 568-91、国際的には ISO 3497 で規定されています。

機器の用途

- ①自動車部品や機械筐体などの一般めっき製品
- ②プリント基板やリードフレーム、コネクタなど の精密電子部品
- ③山梨県の地場産業である宝飾品向けの貴金属めっき製品等

● 仕様

測定原理 : エネルギー分散型蛍光 X 線分析法

X 線照射向き:上面照射方式 測定元素 : Mg(12) ~ U(92)

X 線照射径 :□0.2mm、□0.5mm、□1.2mm、□3.0mm

4 種電動切り替え

X 線管球 : Rh ターゲット

管電圧 15kV, 30kV, 40kV, 50kV 4種切り替え

管電流 20μA~1000μA

X線検出部 :マルチカソードSi半導体検出器(液体窒素不要)

1次フィルタ:5種+なしの6モード電動切り替え

試料サイズ :分析可能サイズ

 $W250mm \times D200mm \times H150mm$

試料室設置可能サイズ

 $W500mm \times D400mm \times H150mm$

問い合わせ

甲府技術支援センター

化学·燃料電池科 TEL:055-243-6111

